

明治安田生命 Presents

明治安田生命

あなたの防災脳を活性化！

風水害に備える

防災脳

ストレッチ

Let's start !

監修：防災・危機管理ジャーナリスト 渡辺実先生

風水害に備える **防災脳** を ストレッチ?

「防災脳ストレッチ」とは
いつ起こるかわからない災害を自分ごととしてとらえ
ストレッチ体操で心身を整えるように
防災の知識と具体的なノウハウを身につけることです
と一緒に、災害に備える知識(備災^{びさい})を身につけ
被災時にとるべき具体的な行動などを学んでいきましょう



本日の内容

1. 自然災害への防災アンテナをストレッチ!
2. 避難のための知識を身につけてストレッチ!
3. 災害発生!避難行動の事前確認でストレッチ!
4. いざというときのためにご加入の「損害保険」をチェック!!



監修：渡辺実先生

(渡辺実氏プロフィール)

防災・危機管理ジャーナリスト

(株)まちづくり計画研究所 CEO

技術士・防災士

上級救命技能士

NPO 法人日本災害情報サポートネットワーク顧問 他

<http://www.machiken.co.jp>

防災・危機管理ジャーナリストとして40余年の実務経歴・実績があります。日本各地の被災地、9.11アメリカ同時多発テロ、イラン大地震、四川大地震など数多くの世界中の被災地へ足を運び、現場で体験した経験や知識を活用して、防災都市計画や行政の危機管理アドバイザーなどの業務を行なっています。国際的な防災・危機管理のエキスパート、ジャーナリストの第一人者として現在、各方面で「防災の実践的な啓蒙活動」に携わっています。



1. 自然災害への 防災アンテナをストレッチ!

災害を「**自分ごと**」化しましょう!

「自分は大丈夫」 と思っていませんか？

日本が災害大国
だとは何となく
理解している…



ニュースで
災害の怖さは
知ってるつもり…



何か備えなくては
いけないとは思っている…



日本は、「過去の常識が通用しない災害時代」に突入し、
どこに住んでいても安全な場所はないと言われています

身の回りで起きていることに目を向けてみましょう

こんな「気候変動」に気付いていますか？

避暑地と知られている北海道でも
「猛暑日(35℃以上)」
全国各地と
変わらない
暑さに!



梅雨明けどきの
「短期間強雨」や
「線状降水帯」
の発生!



全国どこにでも接近・上陸の
可能性のある
「スーパー台風」!



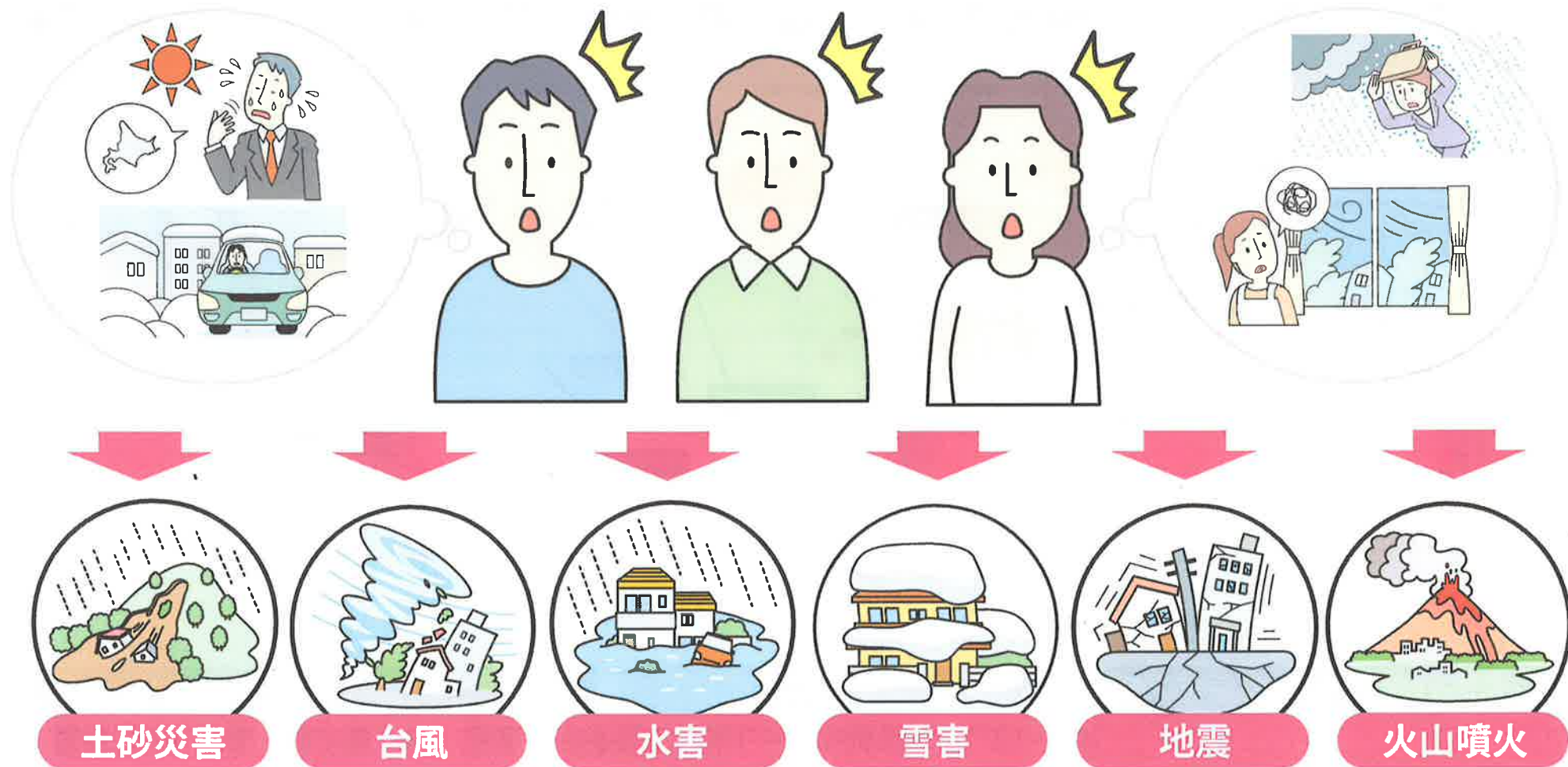
高速道路で立ち往生
「豪雪害」!



1年中、日本のどこかで「気候変動型」災害が発生!

あなたは「自分ごと」として考えていますか？

災害に備えるための正確な情報を知りましょう



災害を「**自分ごとにする**こと」が防災脳ストレッチにつながります

日本の災害を再確認しましょう

“災害多発国・日本”に暮らしていることを再確認

激甚化・頻発化する豪雨災害！地震・火山噴火も・・・

気候変動による「風水害」は、過去3年全国で発生し大きな被害を出しています。

●2018年に発生した主な自然災害



●2019年に発生した主な自然災害



●2020年に発生した主な自然災害



水害

★ 主な水害(床上浸水10戸以上)が発生した地域

地震(震度)

5弱 5強 6弱 6強

火山噴火

▲

台風経路

→ (日本列島に影響を及ぼした台風)

土砂災害

● 主な被災地(土砂災害発生件数が50件以上)

近年は、異常気象が多く発生しています

過去の常識が通用しない異常現象とは…

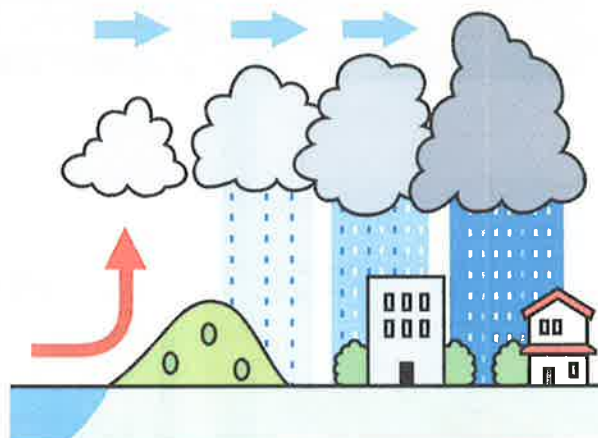
「短時間強雨」「線状降水帯」「スーパー台風」などの気候変動型災害が挙げられます



短時間強雨

1時間降水量が50mm以上の大雨で「滝のような雨」と表現され、土砂災害の危険が高まる。温室効果ガス※の排出が要因の一つとも言われています

※温室効果ガスとは、人間活動によって増加した二酸化炭素、メタン、フロンガス等を指します。



線状降水帯

次々と発生する積乱雲（雨雲）が列をなし、数時間にわたってほぼ同じ場所を通過、停滞する強い降水を伴う雨域のことです



スーパー台風

米国では最大風速が毎秒130ノット（67メートル）以上の台風をいう。日本では毎秒54メートル以上の「猛烈な台風」がこれに該当します

これらの異常気象が**風水害を引き起こす原因**になります

風水害についてのメカニズムをみてみましょう

風水害発生メカニズム

地球環境の変化が風水害の発生につながっていきます

<気候変動要因>

森林破壊

大気汚染

オゾン層破壊

地球温暖化

人為的要素など

1



最近「猛暑日」をよく聞くようになった

気温と海面温度の上昇

2



「ゲリラ豪雨」にあうことが増えた

豪雨と台風

3



「土砂災害」をニュースでよく目にする

洪水・土砂災害

これらはどの地域でも起こりえることです

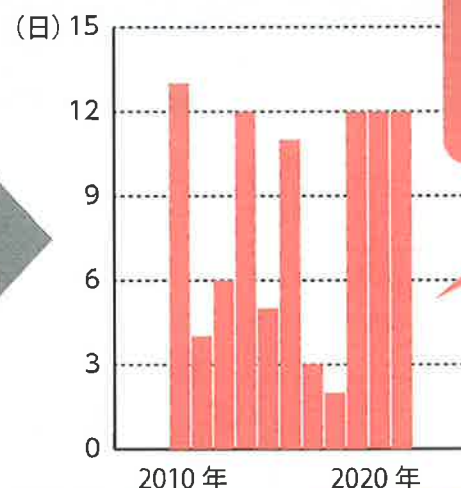
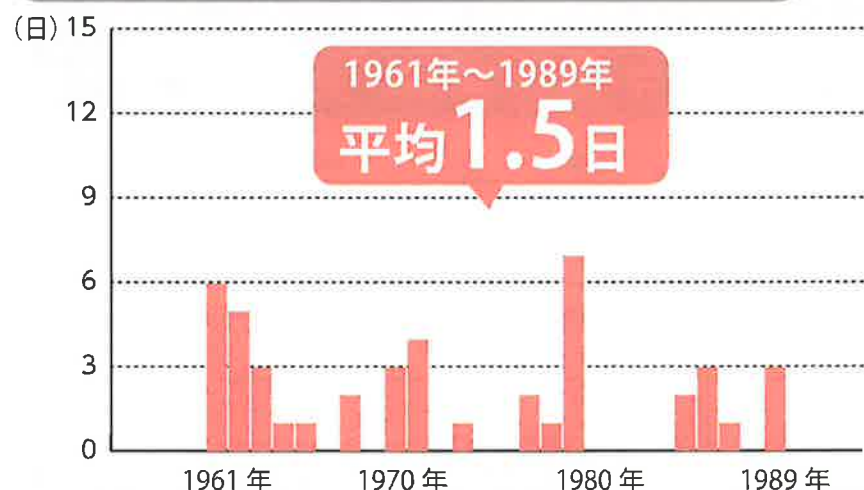
まず、「気温の上昇」について検証してみましょう

風水害発生メカニズム ①気温と海面水温の上昇

「**猛暑日** (35℃以上)」が**多発**!さらに**冬日** (気温が0℃未満)は**減少**

その原因は「**温室効果ガス**」の増加を伴うものと考えられています

●猛暑日(35℃以上)の発生日数推移(東京都)



猛暑日の平均発生日数は2010年～2020年では平均**9.2日**

1961年～1989年の平均1.5日と比べておよそ**6.1倍**にも**拡大**

冬日の平均発生日数は2010年～2020年では平均**8.6日**で、1961年～1989年の平均19.5日と比べて約**1/2**に**減少**

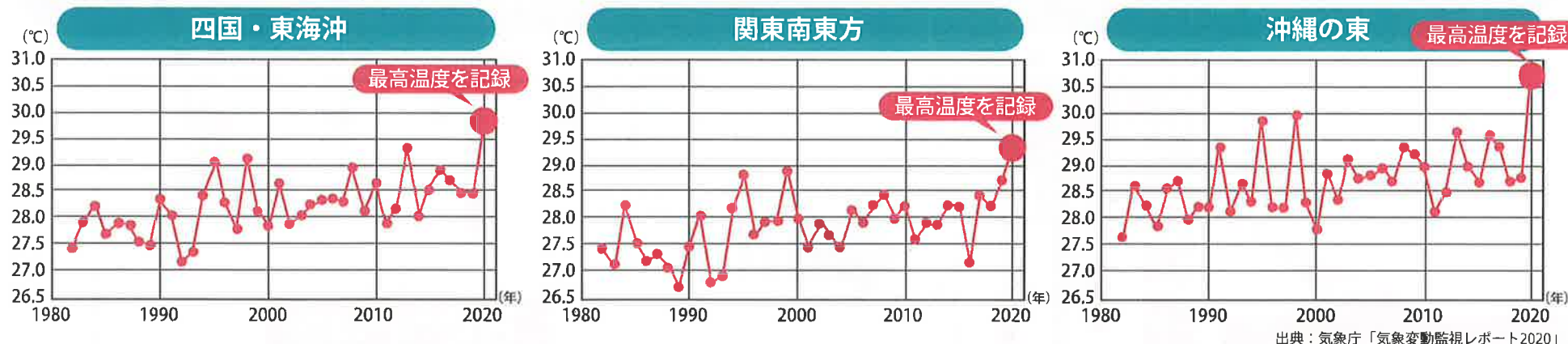
出典:気象庁(観測地:東京)

海面温度も気温上昇に影響を与えています

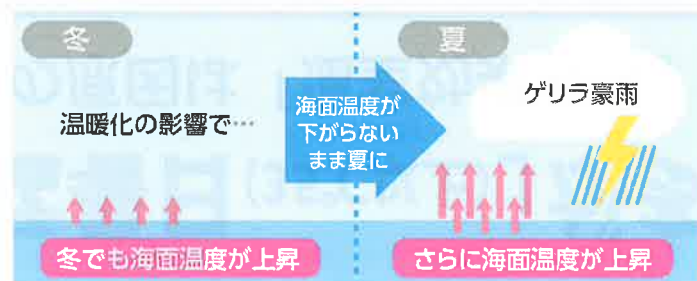
風水害発生メカニズム ①気温と海面温度の上昇

日本を取り囲む海面温度が過去最高に上昇!

●月平均海面温度



2020年は、関東南東方、四国・東海沖、沖縄の東で、海面温度は1982年以降で**最高温を記録**しました



夏の**ゲリラ豪雨**は冬の海面温度が上昇し、下がりきらないまま夏を迎えることで、海面温度のベースが上がり、発生する頻度が高くなると言われています

近年では、実際に豪雨は増えています

風水害発生メカニズム ②豪雨と台風

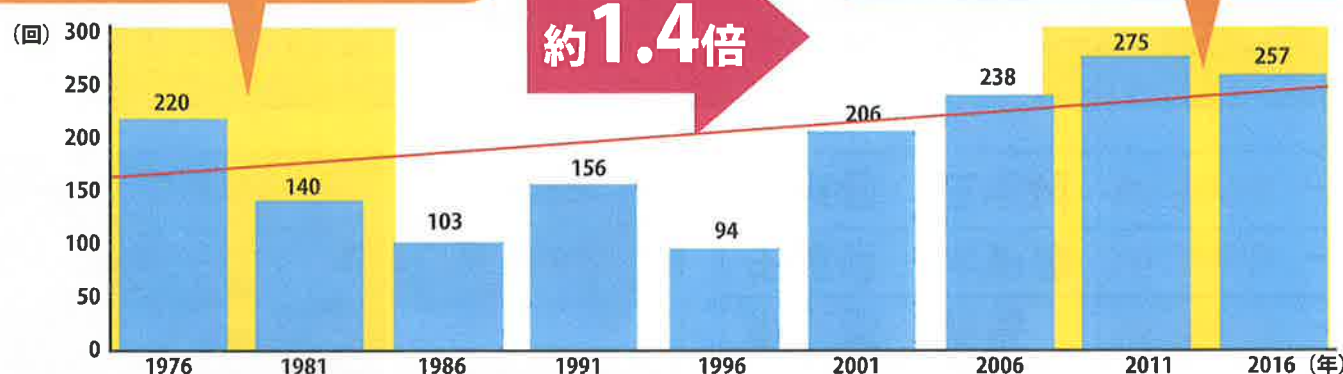
雨の降り方は局地化・集中化・激甚化傾向に!

●全国 [アメダス] 1時間降水量50mm以上の年間発生回数

1976年～1985年 平均**174**回

1時間降水量
50mm以上の雨は

2008年～2017年 平均**238**回



「1時間降水量が50mm以上の激しい雨」の増加は、**降水の局地化・集中化・激甚化傾向**を示し、豪雨や洪水などの水害、崖崩れや土石流などの**土砂災害の原因**になっています

具体的な事例をいくつかみていきましょう

事例Ⅰ

関東以北を襲った強風台風災害

2019年9月：令和元年房総半島台風による風害

瞬間風速の
体感レベル

30m/s…風に向かって歩けなくなる
40m/s…何かにつかまっていないと立てない
50m/s…屋外での行動はきわめて危険



最大瞬間風速観測史上1位のこれまでとの比較(抜粋)

東京都	神津島	46.3m/s	→	58.1m/s
千葉県	千葉	48.6m/s	→	57.5m/s
東京都	新島	34.0m/s	→	52.0m/s
千葉県	木更津	36.3m/s	→	49.0m/s
東京都	三宅村	47.3m/s	→	48.4m/s

出典：気象庁資料より作成

千葉県では最大瞬間風速 57.5 メートル
(観測史上1位※)を記録し、暴風被害による
住家被害や倒木・鉄塔倒壊などが続出するという
甚大な被災を経験しました

※1951年～2019年の台風発生時の観測史上

全壊・・・391棟
半壊・・・4,204棟
一部破壊・72,279棟

出典：「住家被害(令和元年12月10日現在)」内閣府資料

首都圏をはじめとして最大約93万4,900戸の大規模な停電が発生
断水や、鉄道の運休等が発生し、**住民生活に大きな支障を及ぼした**

では、次は土砂災害の事例について説明いたします

事例Ⅱ

歴代の記録を超えた短時間豪雨災害

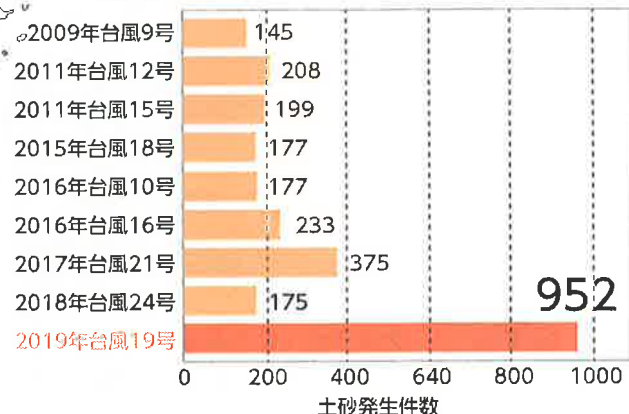
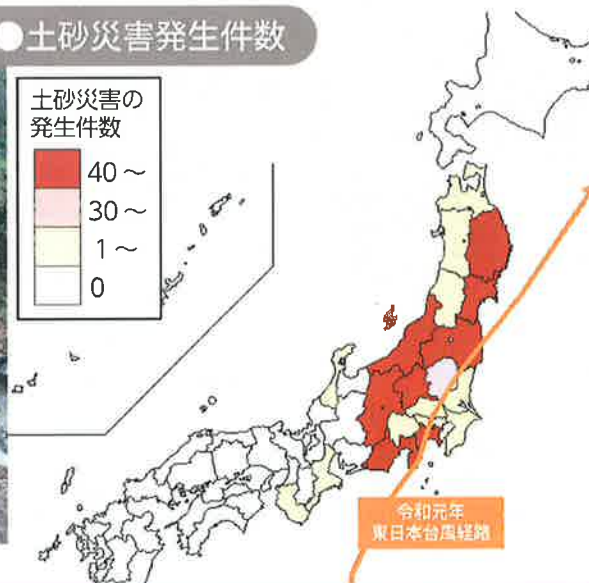
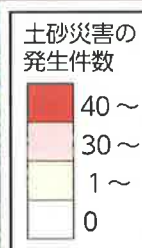
2019年10月:令和元年東日本台風(19号)による水害

台風に伴う土砂災害の発生件数

過去10年間で100件以上の土砂災害が発生した台風災害(8件)と比較



●土砂災害発生件数



東日本のほぼすべての都県において土砂災害が発生

出典：国土交通省「令和元年台風19号に係る被害状況について」

関東甲信地方・新潟・東北地方の広い範囲で
短時間降水量が観測史上1位※を記録した台風
台風による豪雨は、半日から1日程度という短期間に
各地で河川氾濫や堤防決壊、土砂災害、ライフライン被害
などを引き起こし甚大な損害を与えた

※1951年～2019年の台風発生時の観測史上

土砂災害発生件数

(20都道府県で発生)

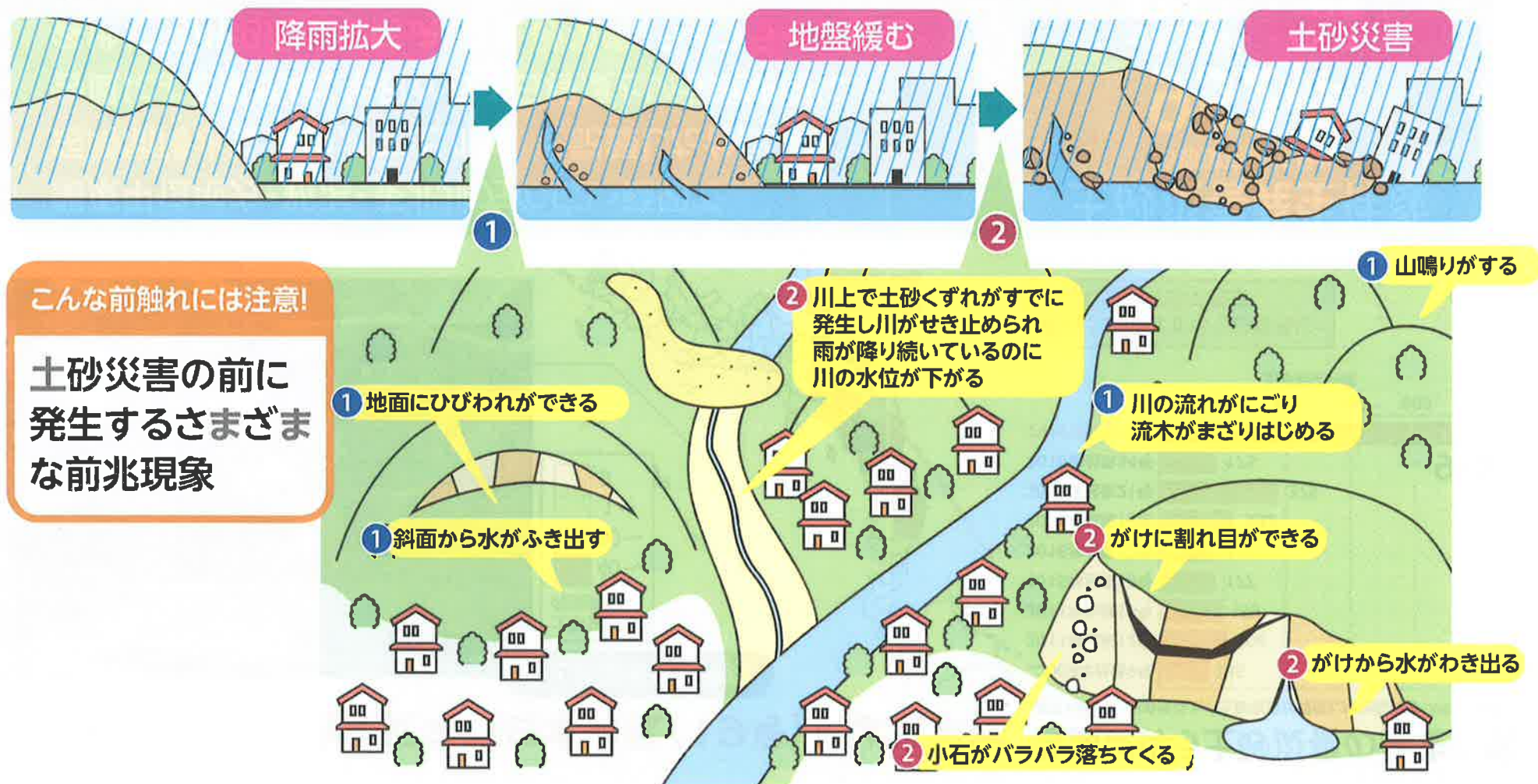
952件

土石流等・・・407件
地すべり・・・44件
がけ崩れ・・・501件

どのように土砂災害は発生するのか確認しましょう

風水害発生メカニズム ③浸水・土砂災害

<土砂災害のメカニズム>



土砂災害の主な現象を確認しましょう

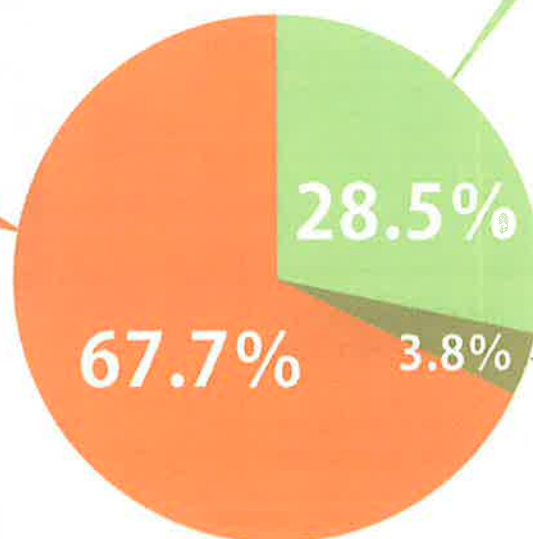
土砂災害の主な現象

土砂災害には「土石流」「地すべり」「がけ崩れ」などの現象があります

土砂災害3,459件 (2018年)

がけ崩れ 2,343件

がけ崩れは雨や地震などの影響によって急激に斜面が崩れ落ちます。がけ崩れは、突然起きるため、人家の近くで起きると逃げ遅れる人も多く死者の割合も高くなっています。



土石流等 985件

土石流は山腹や川底の石や土砂が、下流へ押し流されるものです。その流れの速さは、時速20キロメートルから40キロメートルと、自動車なみのスピードです。



地すべり 131件

地すべりは広い範囲(はんい)にわたって、すべり落ちていく現象です。動く範囲が広いため、家や田畑、道路や鉄道などが、一度に大きな被害を受けてしまいます。



出典：国土交通省「防災白書 令和3年版」

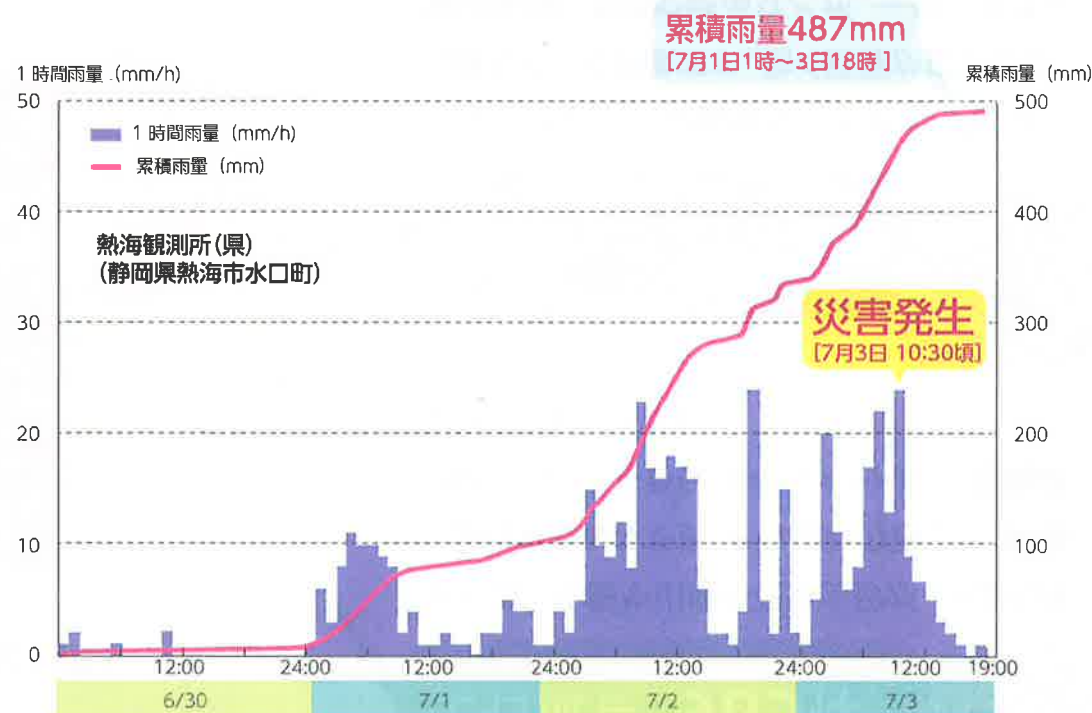
近年、発生した土砂災害を思い出すことはできますか

事例Ⅲ

長時間の強い降雨、隠れ線状降水帯災害

2021 年 7 月：熱海市土石流災害

「熱海市土石流災害」は、「自然災害事例」と「人為的な原因」が複合して起こった可能性がある災害事例でした



2021年7月3日に発生した『熱海市土石流災害』は長時間の強い雨が降り続いたものの、「線状降水帯発生情報」の基準(3時間降水量が150mm以上)には達してなかったことから『隠れ線状降水帯』による土砂災害事例とも言われています

「過去の経験を超えた」風水害は全国的に多発しています

現在の「気候変動」による自然現象

それは

「過去の経験が通用しない」

規模の災害を

引き起こしています



しっかりアンテナを
はりましょう

2.避難のための 知識を身につけてストレッチ!

避難知識で
防災脳をストレッチ！
自分の住む地域の
危険に備えましょう！

質問です

風水害と聞くと、
河川の近くや山間部などの地域
だけが危険だと思いますか？

はい



いいえ

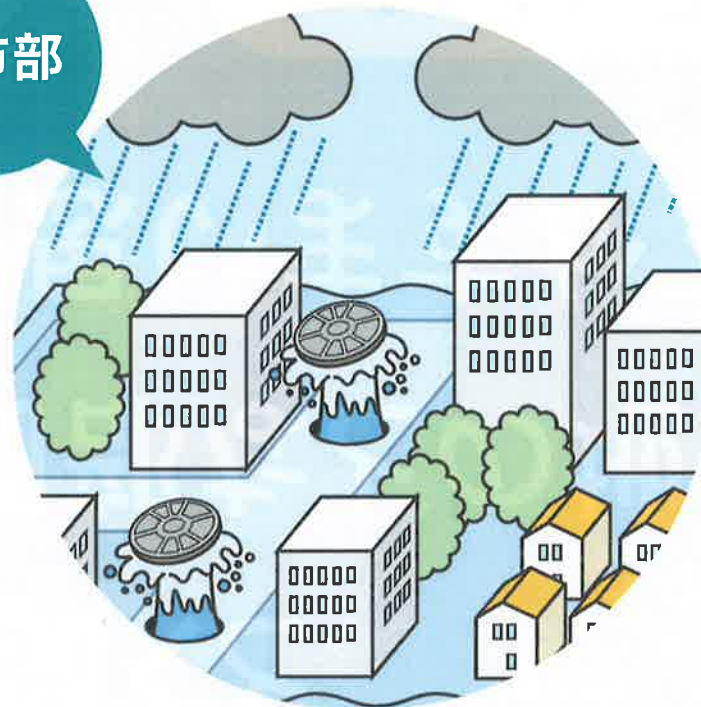
さて、どちらでしょうか？

答えは **いいえ** です

山間部や
河川近く



都市部



近年では都市型水害も発生しています

誰もが自分の地域にあった「避難知識」を持つべきです

地震と風水害では避難に対する行動が異なります

地震は
予測できず
突然訪れますが…



風水害は
事前に情報を得ることで
備えることが
できます！



事前に準備ができる風水害の備えについて確認しておきましょう

風水害の避難行動に必要な予備知識①

集中豪雨や超大型台風などの風水害の可能性は
ニュースや気象情報などで事前に知ることができます

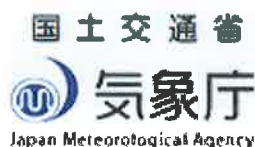
まずは

- **情報に敏感になり、情報収集をすること**

↓そのためには

- **被災した場合の情報収集に
役立つ情報源を把握しておくこと**

＜情報収集に役立つWEBサイト＞



防災情報



<https://www.jma.go.jp/jma/menu/menuflash.html>



<http://www.bousai.go.jp>

水害時の避難路や避難場所の確認も重要です

風水害の避難行動に必要な予備知識②

<水害時の避難路の確認>

浸水エリアを事前に想定することで、避難場所や避難路を把握し、素早い避難につながります

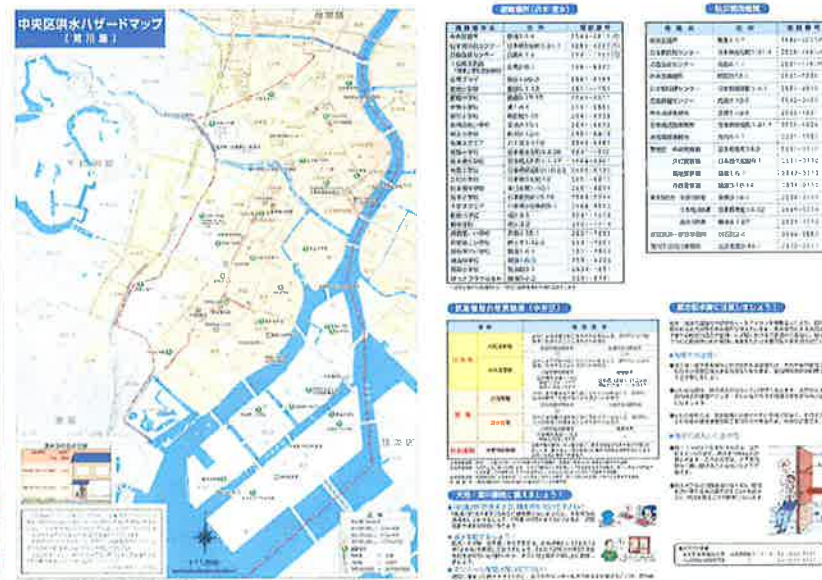
その
ために

●自宅・職場近辺のハザードマップを確認することが重要です

山間部



都市部



ハザードマップについて詳しくみてみましょう

風水害の避難行動に必要な予備知識②

ハザードマップは国土交通省のポータルサイトで提供されており、2つの種類があります



<https://disaportal.gsi.go.jp>



洪水・土砂災害・高潮・津波のリスク情報、道路防災情報、土地の特徴・成り立ちなどを地図や写真に自由に重ねて表示できます



各市町村が作成したハザードマップを確認できます
地域ごとのさまざまな種類のハザードマップを閲覧できます

災害発生時に必要な知識をみてみましょう

風水害の避難行動に必要な予備知識③

災害発生危険度を理解し、「すみやかな判断」のうえ避難することが重要です

災害発生の警戒アラート



災害発生時にはすみやかな行動が求められます

風水害の避難行動に必要な予備知識③

危険を感じたときにはすでに警戒レベルが「4」や「5」というケースもあります

その場合には以下の点に心がけましょう。

周りが浸水し、避難経路がない場合

避難所への避難ではなく
「垂直避難」を検討!

無理に避難所を
めざすのではなく、
上の階への避難、
高い建物への避難を
検討してください



夜で明かりのない場合

車での避難は危険です
水位を確認し、歩いて避難を!

傘などで
地面を突きながら
確認しつつ歩く
ことが重要です



災害の連鎖についてもみてみましょう

集中豪雨やスーパー台風が過ぎ去りました
もう避難しなくても
いいと思いますか？

はい

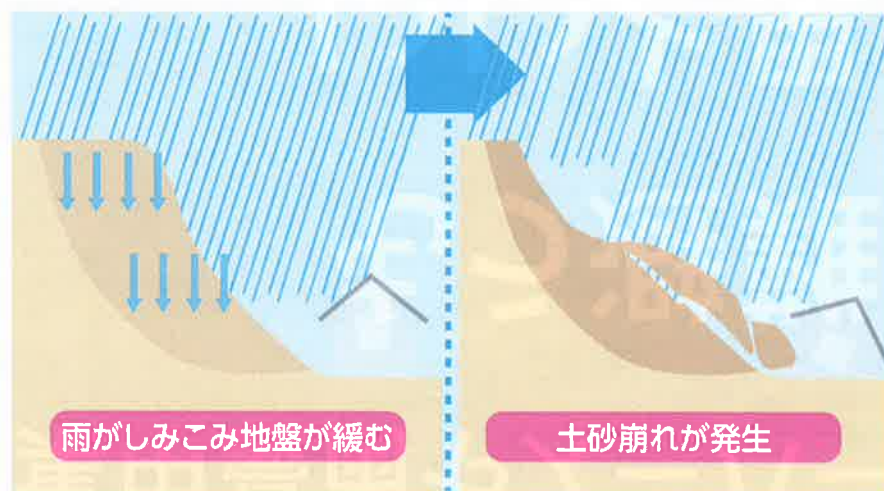


いいえ

さて、どちらでしょうか？

答えは **いいえ** です

風水害が引き起こす「土砂災害」は
時間が経ってから発生する場合があります



長く続く雨により、地場が緩み、
通常より土砂災害が
起こりやすくなっていますので
**これまで災害のなかった
地域(場所)でも注意が必要です**

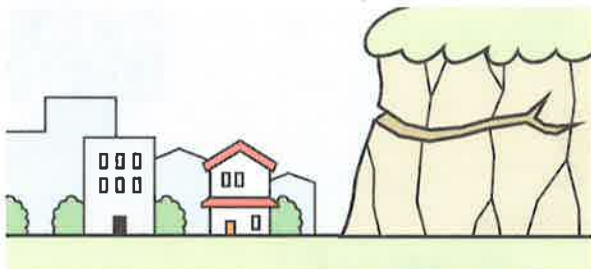
土砂災害の前兆現象にアンテナをはりましょう

「土砂災害」の避難行動に必要な予備知識



「前兆現象」に注意を向けましょう

がけ崩れ(急傾斜地の崩壊)



がけに割れ目が見える



がけから水がわき出ている



がけから小石がばらばらと落ちてくる

土石流



急に川の流れが濁り流木が混ざっている



山鳴りがする

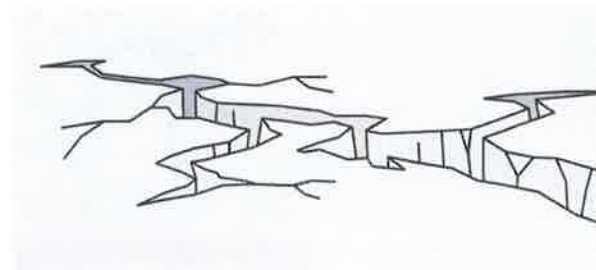


雨が降り続けているのに川の水位が下がる

地すべり



沢や井戸の水が濁る



地面にひび割れができる



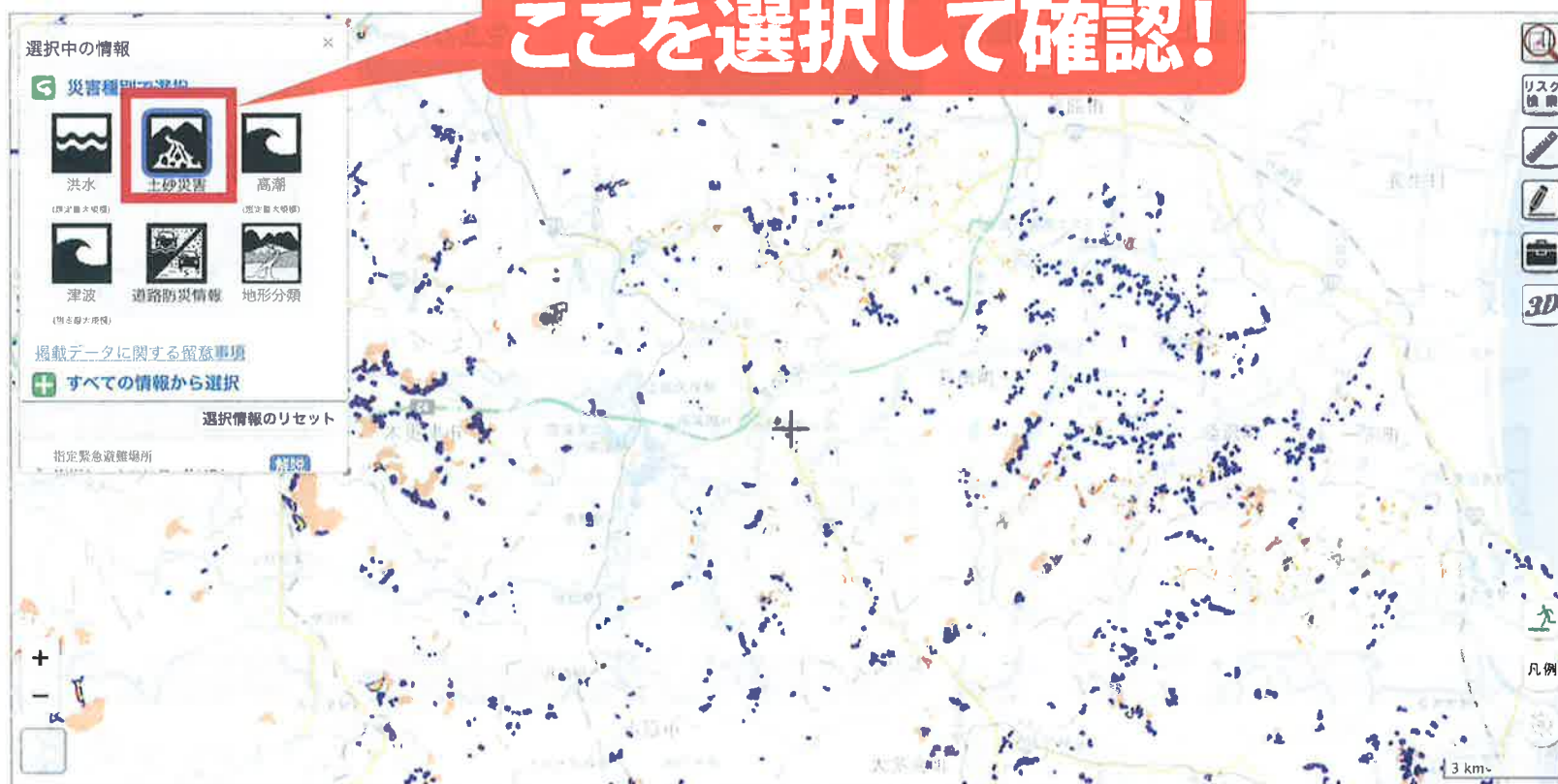
斜面から水がふき出す

「土砂災害」のハザードマップを確認しておきましょう

「土砂災害」の避難行動に必要な予備知識

国土交通省の「重ねるハザードマップ」「わがまちハザードマップ」から土砂災害のリスクを確認できます

ここを選択して確認！



<https://disaportal.gsi.go.jp>

避難や災害発生時に役立つ便利なアプリがあります

避難行動に役立つツール①

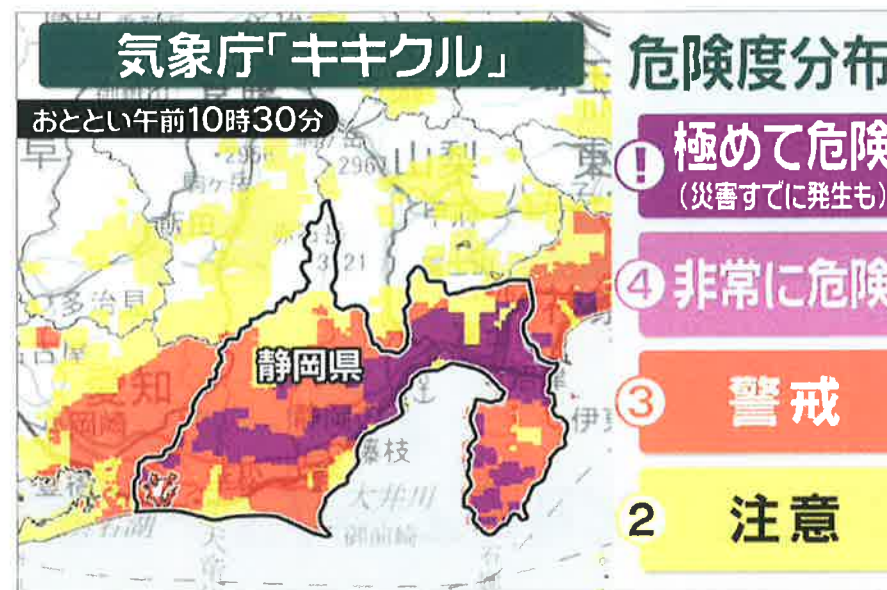
アプリ① 危険度分布 キキクル

<特徴>

(気象庁提供アプリ)

必要な情報をいつでも入手することができる便利なツールです

雨によって起こされる災害の危険度を画像でわかりやすくお知らせ



<http://www.jma.go.jp/bosai/risk/#elements:flood/zoom:10/lat:33.938233/lon:133.494873/colordepth:normal>

その他にも役立つツールがあります

避難行動に役立つツール②

スマートフォンをお持ちの方は二次元コードからアクセスしてください
必要な情報をいつでも入手することができる便利なツールです

アプリ②

「避難行動判定フロー」



LINE ID : @bosai

ハザードマップとあわせて確認することで、
入力した地域の災害リスクや住居にあわせ
た避難行動、適切な避難先を、自動的に判
断できるアプリです

アプリ③

「逃げなきゃコール」



スマートフォンのアプリやショートメッセー
ジサービス(SMS)の機能を活用して、希望
の場所の防災情報が送られてくるプッシュ
型の新しいサービスです



「避難行動判定フロー」からみてみましょう

「避難行動判定フロー」のアプリを活用しましょう!

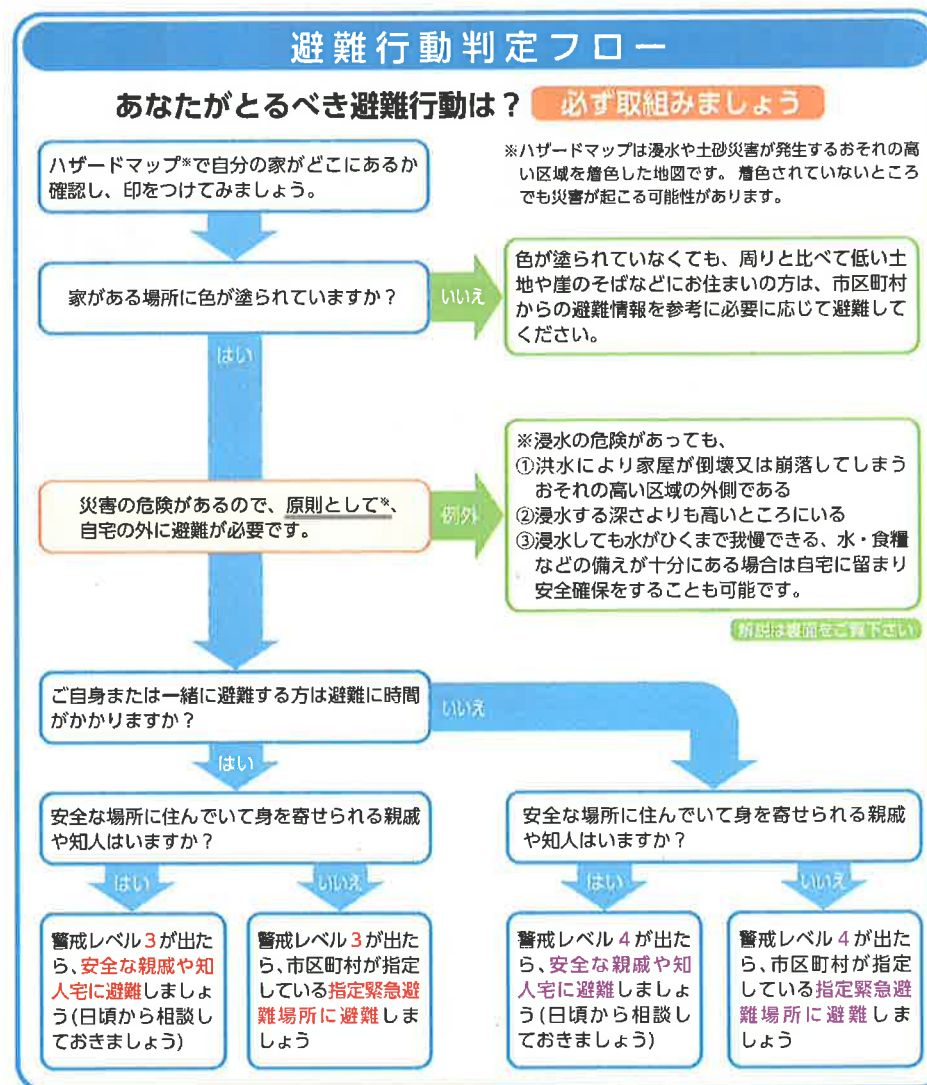
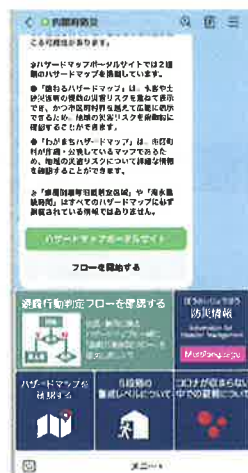
<特徴>

LINEアプリで「内閣府防災」をチェック

14カ国の言語対応

入力した住所のハザードマップを検索

「避難行動の判定」をチャット感覚表示



次に「逃げなきゃコール」を試してみましょう

「逃げなきゃコール」のアプリを活用すると役立ちます！

<特徴>

スマートフォンのアプリ機能やショートメッセージを使っていち早く情報を受信

代理で受信できるので、親族や友人へ避難の呼びかけが可能



災害時に役立つアプリをまとめて確認しましょう

避難や災害時に役立つアプリ

事前
に

ハザードマップで
災害リスクの確認に

国土交通省ポータルサイト



事前
に

災害
発生時
に

必要な気象情報を
画像でわかりやすく
お知らせ

危険度分布 キキクル



災害
発生時
に

ハザードマップと
あわせて確認で
適切な避難先を判断

避難行動判定フロー



災害
発生時
に

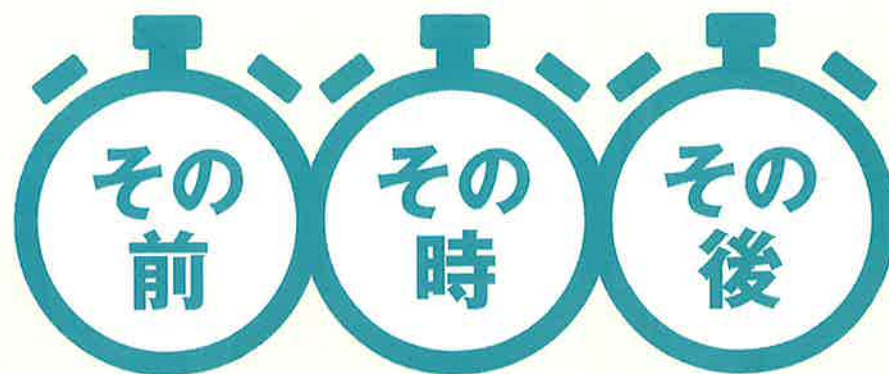
プッシュ通知や
ショートメッセージで
いち早く情報受信

逃げなきゃコール



情報収集で速やかな避難行動が重要です

**3. 災害発生！
避難行動の事前確認で
ストレッチ！**



『備災サバイバルレッスン』

災害状況は時間の経過とともにどんどんと変化していきます

災害が発生する「**その前**」

災害が発生した瞬間「**その時**」

二次災害や持久戦に備える「**その後**」

と大きく分けて3つの段階で全く違った現実と対峙していかなければなりません



備災サバイバルレッスン①

～ご自身は準備できているかイメージとして思い浮かべてみましょう～

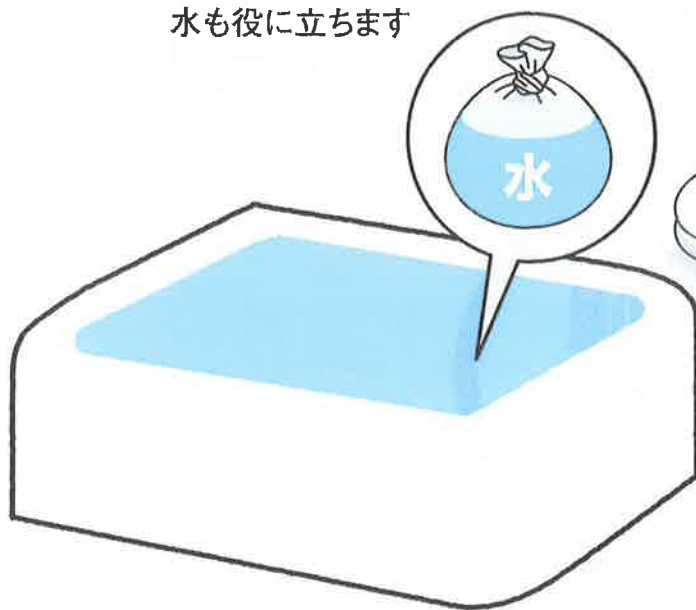
水の確保



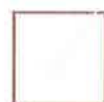
いざというときは
お風呂の水を活用!

お風呂の水は生活用水に使えるため
万一のために貯めておきましょう
いざというときはトイレタンクの水も役に立ちます

ハンドルを
ガムテープで固定して
水をムダにしないように!

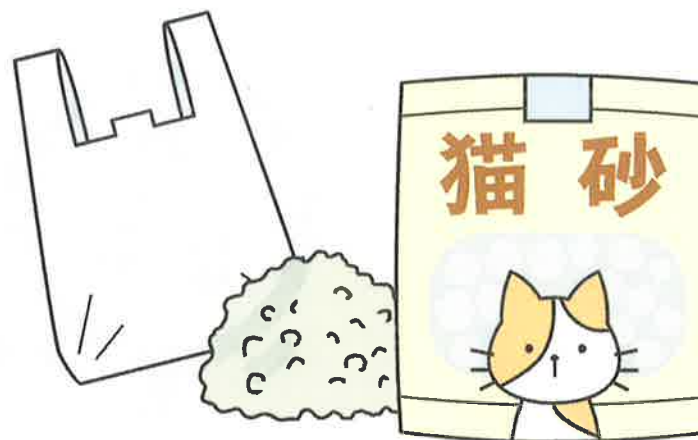


排泄への対応



ネコの気持ちに
なって準備!

「猫砂」を活用すると排便や尿が固まります
ビニール袋をあわせて準備しましょう

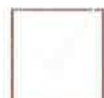




備災サバイバルレッスン②

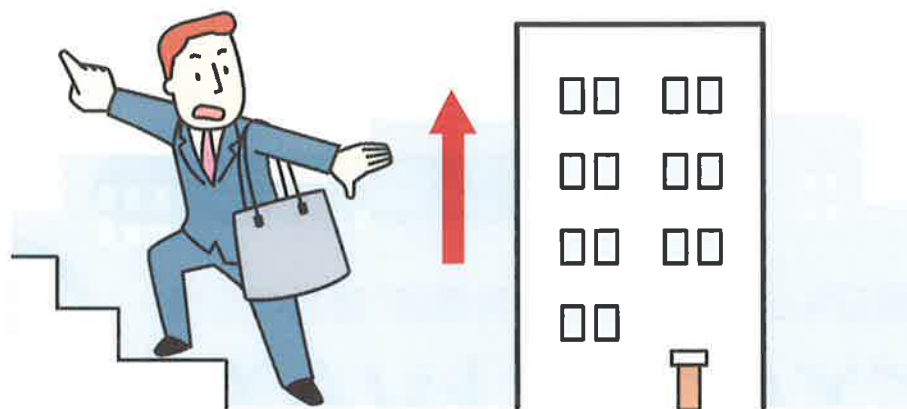
～災害発生の瞬間をイメージして防災脳をストレッチしておきましょう～

避難の方向

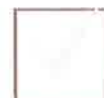


横へ避難が難しいなら
「上」へ逃げる!

避難場所への移動が難しい場合は
高い場所への避難が必要です

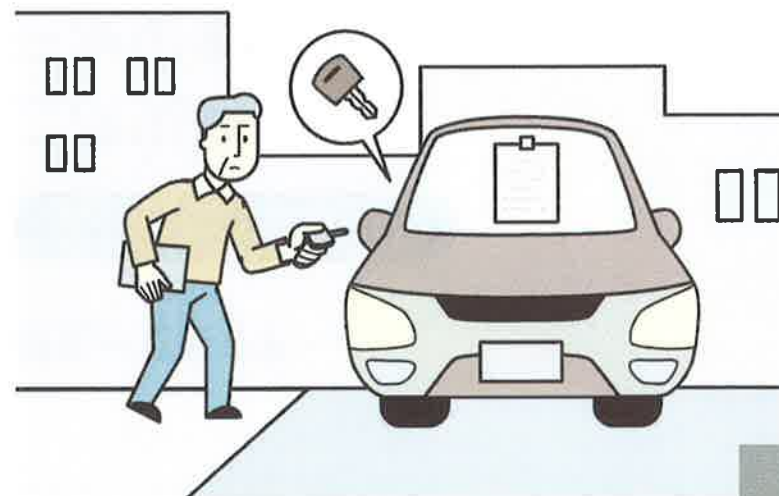


他者への連絡



車のなかにも
連絡先を残す!

車での移動中に災害が発生した場合、
まず減速し、安全確認をして路肩に寄せて停車
車を離れる場合は、鍵は付けたまま、
連絡先などを書いたメモ書きを置いておきましょう





備災サバイバルレッスン③

～即座の行動、長期戦への行動、どちらも日頃からの意識が重要です～

率先避難

あなたの行動が
多くの命を救う!

避難指示が出されると
多くの人が不安を抱え避難します
勇気を持って大きな声を出して
率先避難・呼びかけ避難を行ないましょう
事前に連絡網やグループの編成を作るのも
ポイントです



長期化への対応

二次災害
三次災害に備えて!

土砂災害などの二次災害といっても
土砂災害などだけではなく
避難所での慣れない生活、災害への不安から
健康二次被害としてのエコノミークラス症候群を
引き起こすこともあります
水分の補給や数分ごとに歩くことを心がけましょう

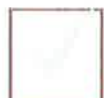




備災サバイバルレッスン④

～72時間を生き抜くために情報収集や準備をしましょう～

情報の選別

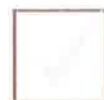


デマや嘘を見抜くこと!

災害時は、デマや嘘情報が氾濫します
信頼できる人たちとのコミュニケーションネットワークは
絆と情報をもたらしてくれる命綱となります
例えば“逃げなきゃコール”などの活用が有効です



生き残る覚悟



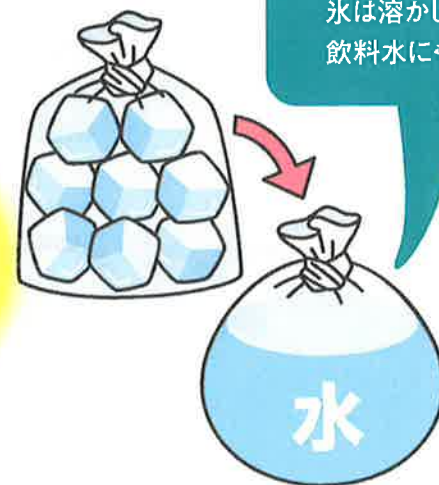
周りをよく見て 72時間生き抜くために!

72 時間を生き抜くための知恵や備えを
もう一度確認しましょう
工夫ひとつで準備しておいたものも
活用の幅が広がります

懐中電灯は
工夫して
ランタンに



氷は溶かして
飲料水にも



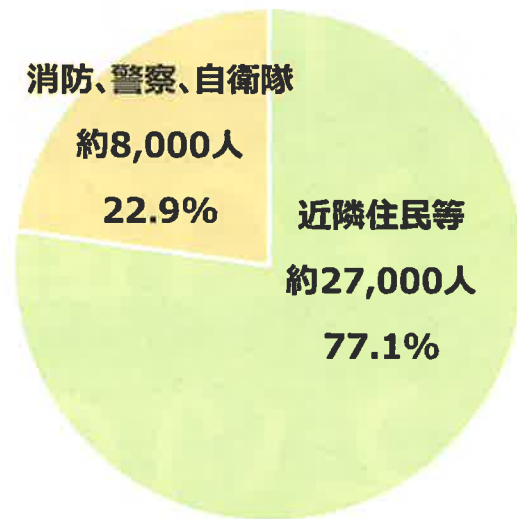


「備災」の基礎となる 共助と自助

「自分の身は自分で守る自助」の他にも
「近所の人たちと助け合う共助」の取組みを進めておくことは
防災力を高めるだけでなく、命を守る絆も強くすることにつながります

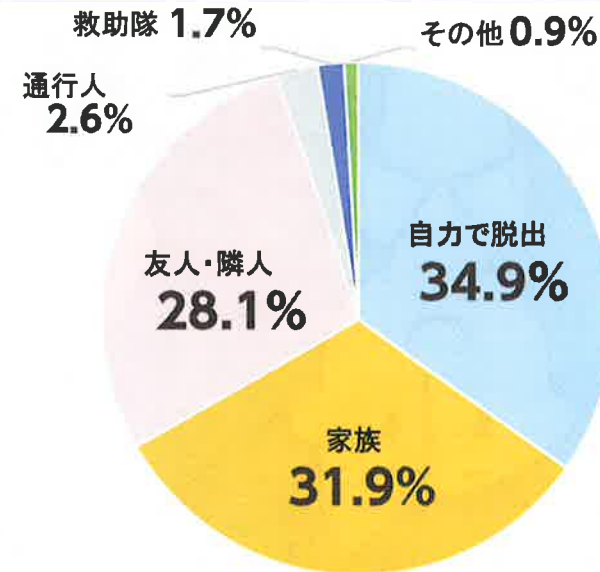
災害発生後の「共助」の重要性

阪神・淡路大震災における救助の主体と救出者数



出典：平成28年版「防災白書」より引用

阪神・淡路大震災における生き埋め・閉じ込めの際の救助主体



出典：平成26年版「防災白書」より引用

大災害が発生したときに頼りになるのが「近隣住民」であることが
さまざまな被災地への調査でわかってきました
救助活動、復旧作業、炊き出しに傷病者の看病など
被災者同士の心と心をつなぐ「絆」となって復興の土台をつくっていきます

最後に、金銭面での **災害時の備え**

についても
確認して
おきましょう



4. いざというときのために
ご加入の「損害保険」を
チェック!

C H E C K !

火災保険の内容を確認していきましょう

損害保険には「自動車保険」「火災保険」「傷害保険」などがありますが、今回は自宅や家財を災害から守る「火災保険」についてみていきましょう



風水害の備えとなるのは火災保険です

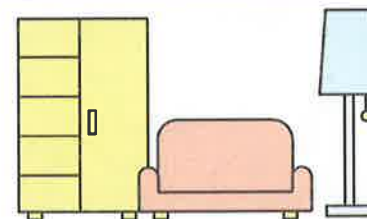
火災保険の対象と補償内容

対 象

住宅



家財



補 償

火災



落雷



破裂
爆発



風災
ひょう災
雪災



水災



物体の
落下
飛来衝突



水濡れ



など

ただ、

地震による
被害

+ 地震保険の加入が必要ですので
ご注意ください

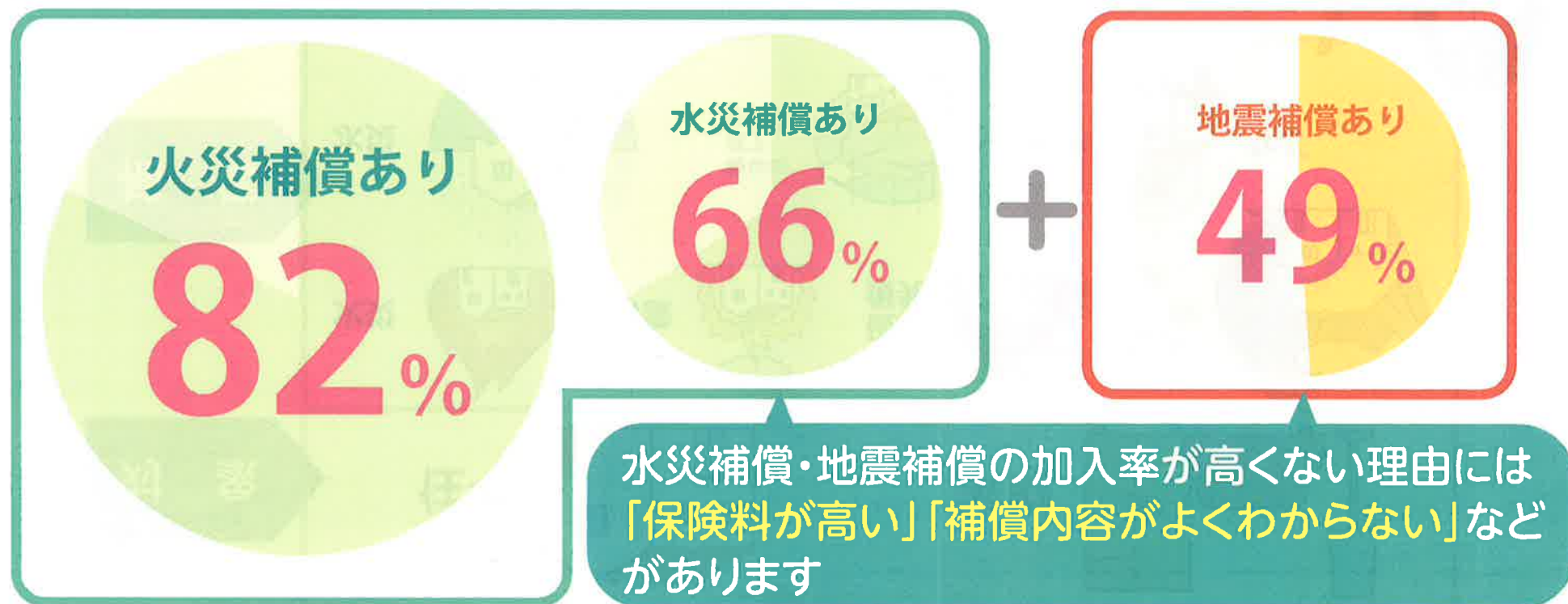


どのくらいの人が補償を備えているでしょうか

みなさん火災への備えの意識は高いようですが…

水災補償や地震補償の加入割合は、火災補償に比べると、まだ低い状況です

■持家世帯の保険・共済の加入件数・割合（建物のみ）



※損害保険料率算出機構資料（2015年度末における全保険会社の建物（住宅）を対象とした火災保険保有契約を集計）および日本共済協会資料（2015年度末におけるJA共済連、JF共済連、全労済、全国生協連の建物（住宅）を対象とした共済保有契約を集計。住宅のみのデータ抽出が困難なものを除く）をもとに、内閣府試算

風水害の補償はどのようなときに役立つのでしょうか

事例から学ぶ！台風被害による建物の被害

2021年 台風発生件数22件

日本に接近した台風12件のうち、上陸した台風3件

ちなみに…2019年 29件の台風が発生し、15件が接近 上陸したのは5件

強風による建物被害



停電や断水の長期化



台風などの風水害に必要な補償を確認しましょう

台風などの強風による被害に備えるべき主な補償

＜火災保険で備えることができる風災の主な補償例＞

住宅への補償

風災・破損補償など

屋根瓦が破損

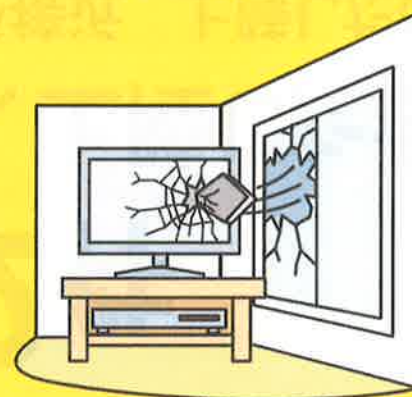
飛来物で壁が破損



家財への補償

破損・風災補償など

窓ガラスが割れ風雨により、家電が故障



水害への補償も確認してみましょう

台風などの水害による被害に備えるべき主な補償

＜火災保険で備えることができる水災の主な補償例＞

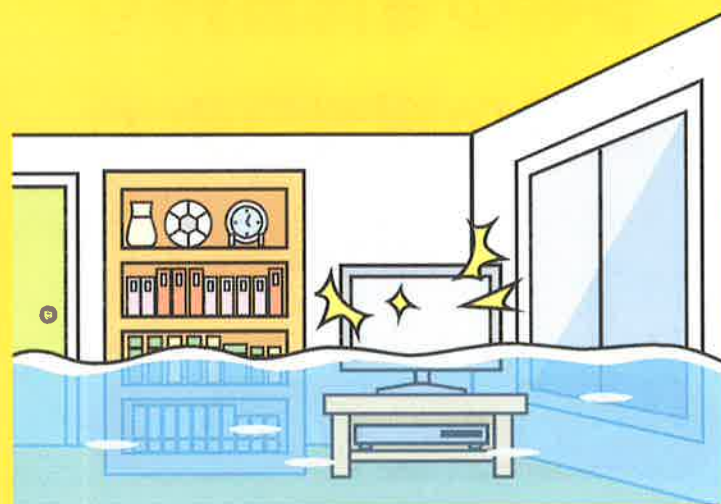
住宅への補償

豪雨による自宅の浸水・水没



家財への補償

自宅浸水による家財の浸水、故障



ご自宅に戻られたら、ご自身の契約内容を確認しましょう

保険証券をご確認ください～その1～

保険証券		《保険証券サンプル》
保険契約者	証券番号	
ぼうさい 防炎 たろう 太郎	XX-XXXXXX	
保険期間 20XX年X月X日～ 20XX年X月X日		
地震保険の有無	建物 ☐ 家財 ☐	
補償の対象となる方		
被保険者・本人：防炎太郎		
補償の対象となる物件（保険の対象）		
建物内に収容される家財一式		

確認のポイント！

- ① 保険期間
- ② 地震保険の有無
- ③ 補償対象の物件



※保険証券は損害保険会社によって内容・デザインが異なります

加入している補償内容も確認しましょう

保険証券をご確認ください～その2～

《保険証券サンプル》

補償内容

証券番号： 保険約款：
 保険期間：
 契約者名：

補償の内容と支払限度			
	建 物	免 責 金 額	ご確認事項
火災 ・火災 ・落雷 ・破裂・爆発	☐		
風災 ・風災 ・雹災 ・雪災	☐		
水災・水災	☐		
盗難・水濡れ	☐		
破損	☐		

地震保険の補償の内容			
	建 物	家 財	ご確認事項
地震 ・地震 ・噴火 ・津波	☐	☐	

確認のポイント！

- ④火災や風災・水災の
補償がついているか確認
- ⑤地震保険の補償が
建物・家財に
ついているか確認



※保険証券は損害保険会社によって内容・デザインが異なります

災害が発生したときに補償されずに困らないために

災害での被害にはさまざまなケースが考えられますので
自助努力での備えが重要となります

この機会に、
ご加入の補償について
もう一度確認して
おきましょう



日頃から防災脳のストレッチをしておきましょう！

毎年多くの災害が発生し、
数多くの被災者がでています
この日本に住む限り、自然災害を避けて
暮らしていくことはできません

一方、風水害は事前に備えることで
人命を守ることができます

日頃からアンテナをはり
変化に気をつけて、
正しい避難行動・備災を
することが大切です



ご清聴いただきありがとうございました

監修：防災・危機管理ジャーナリスト 渡辺実

明治安田生命保険相互会社

〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-1-1

TEL.03-3283-8111 (代表)

ホームページ <https://www.meijiyasuda.co.jp/>

担当者